

INTERIM BUSINESS REPORT

2023年8月期中間 2022.9.1 - 2023.2.28



Koshidaka HOLDINGS

株式会社 **コシダカ** ホールディングス

証券コード2157





代表取締役社長 腰高 博

コロナ禍の3年間を乗り越え、
より強靱となった
企業体を基礎に、飛躍に向け
成長戦略を加速してまいります。

Q.1 急速なV字回復が続く中、当上期の増収増益のポイントを教えてください

約3年にわたってカラオケ業界に多大な影響を及ぼしてきたコロナ禍は、ようやく出口が見えてきました。当社グループの業績は、前期(2022年8月期)に急速なV字回復を果たし最終利益も3年ぶりの黒字となり、当期(2023年8月期)から、いよいよコロナ禍前の水準を凌駕する取り組みが本格化しています。

そうした中、当上期の連結業績は、売上高が前年同期

比54.9%増の256億円、営業利益が同12.8倍の35億円となり、コロナ禍前の水準を大幅に超える実績を早々に上げることができました。最大の要因は、この3年間の「積極出店」の継続と「店舗の大型化」によって、分母となるルーム数が大幅に増加したためです。ルーム数は、2020年2月末の12,249ルームに対して2023年2月末には15,255ルームと、約1.25倍に増加しています。業界全体としては、新規出店を控え総店舗数も漸減状態に陥る中で、当社は、逆張りとも言える積極策を続けた結果、客足の急回復の恩恵をダイレクトに受けており、今後、さらに大きな格差を生み出していくものと見込んでいます。

Q.2 当期より、中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」の追求が再始動しています。まず、今後の出店戦略をお聞かせください

コロナ禍の3年間、当社は「積極出店」を堅持してきましたが、収益確保が困難な状況が続く中であったことから、同時に一定の抑制も利かせていました。しかし、今後は、組織の規模として対応可能な最大レベルまで出店強化を推し進めます。これまでと同様に「駅前・繁華街」への出店と「店舗の大型化」を同時進行で追求していきます。

出店エリアとしては、引き続き首都圏を中心としながら、出店余地の大きな近畿圏への出店も積極化していきます。2022年8月期は48店舗の新規出店を行いました。2023年8月期は計画の50店舗を超える勢いであり、今後、候補物件の動向次第では、さらに加速していく可能性もあります。

また、店舗の大型化については、従来1店当たり十数

ルームの店舗が多かった状況から、ここ1~2年は40~50ルームの大型店の出店が増えており、2023年2月末現在、1店当たり平均ルーム数(駅前・繁華街店舗の場合)は26.8

ルームとなっています。今後も引き続き店舗の大型化により生産性・効率性のさらなる向上を図り、同業他社に対する圧倒的競争力の強化につなげてまいります。

Q.3 次に、PER※(カラオケにとどまらない多様なエンタメを提供する場)の拡充について、進捗状況はいかがですか

※ PER: (プライベートエンターテインメントルーム)

中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」の実現に向けて、PERの拡充に注力しており、これまで、「ミラPon!」、「ライブビューイング」、「デジポケ」、「ONEREC」などを開発し、世に送り出してきました。まだまだ実験段階であり、お客様の反応を見ながら工夫を重ねていきたいと思っております。

そうした中、人気アニメとのコラボ企画は、2022年の成功事例としてあげることができます。この年に本格的なスタートを切った同企画は、人気アニメの描き下ろしイラスト等を使ったコラボドリンクやオリジナルグッズ、さらにはコラボルームなどを期間限定で展開するものです。同企画は、国内で大きな反響を呼んだことから、2023年1月に世界同時展開したところ、海外でも大ヒットを飛ばしました。この効果により、日本と東南アジアを合わせた2月の世界売上ランキングで、タイの店舗が

第4位を獲得するという異例のトピックがありました。アニメコラボ企画は今後、間違いなく「カラオケまねきねこ」の人気企画として世界に定着・浸透していくものと期待しております。

そして、新たな挑戦として、「DX推進室」(2022年9月新設)が主導する形で、VR(バーチャルリアリティ)技術を活用した新体感のカラオケサービス「メタカラ」を開発(タイムルーパー合同会社との共同)し、2023年3月より「カラオケまねきねこ渋谷本店」でのトライアルサービスの提供を開始しています。引き続き、多様な挑戦を積極的に続けていく方針です。



Q.4 今後の事業拡大の基盤となる組織力の強化については、どのような状況でしょうか

出店ペースの加速に対応して強化を図らなければならないのが「人財」です。店長候補として適した人財を採用し、早期に一人前の店長に育て上げることが、出店加速を成功へと導いていくための最重要課題であると認識しています。2021年4月に社員研修センター「まねき塾」

を群馬県前橋市から東京都江戸川区へと移転し、施設規模を約4倍に拡充した効果が十二分に発揮されており、さらなる出店のペースアップにも対応可能な状況にあります。なお、採用の現場では、「まねきねこ」が業界ナンバーワンブランドとして浸透してきたことで、正社員・



アルバイトとも募集人数を大幅に上回る応募をいただくなど、計画通りの採用活動を進めることができております。また、今後のPER拡充、すなわち、カラオケにとどまらない多様なエン

タメの開発・供給に的確に対応していくためには、DXをはじめ、先進デジタル技術にも対応していくことができる高度人財の採用・育成がますます重要となってきます。これにより、当社グループでも人財の多様化が進んでいくこととなりますので、あらゆる層の人財が高いモチベーションを維持し続けることができるよう、人事制度の向上も図ってまいります。

Q.5 | 当期に入り、海外展開も加速しているようですが、方針をお聞かせください

当社グループの海外主戦場である東南アジア諸国の経済活動は、2022年夏頃以降、コロナ禍からの回復が急速に進んでいることを受け、当期(2023年8月期)は「海外展開加速」を宣言し、積極出店を再開しています。現在、「マレーシア」、「タイ」、「インドネシア」の3か国を中心に出店の加速を図っており、今後も成長が期待でき

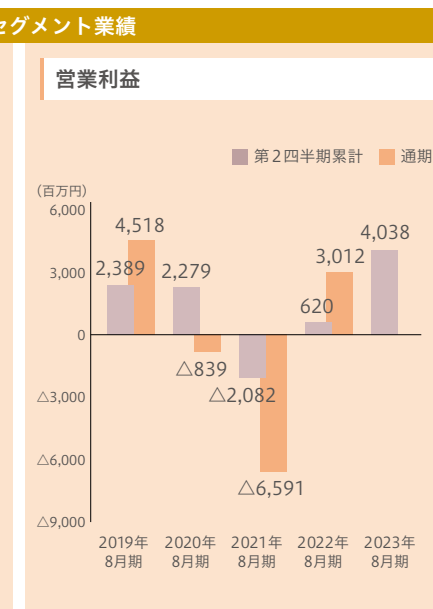
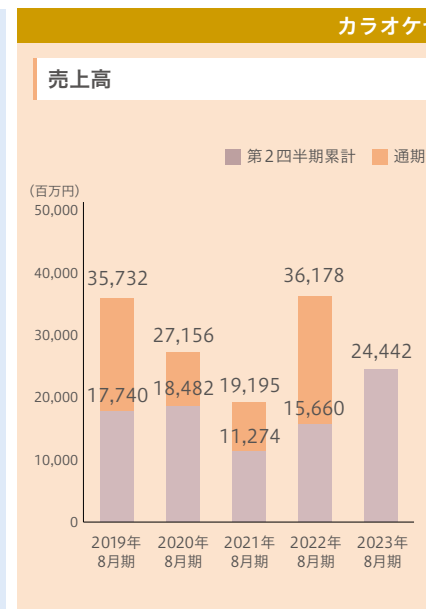
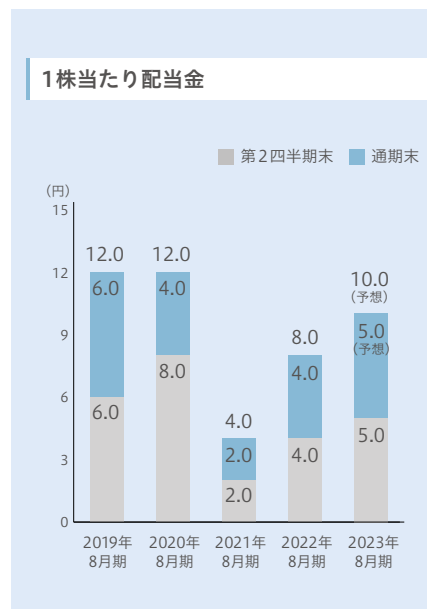
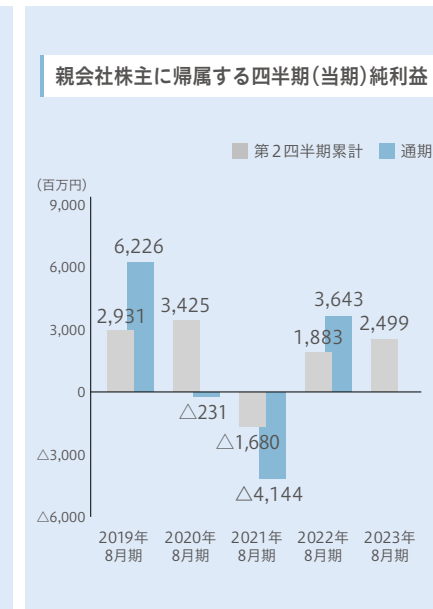
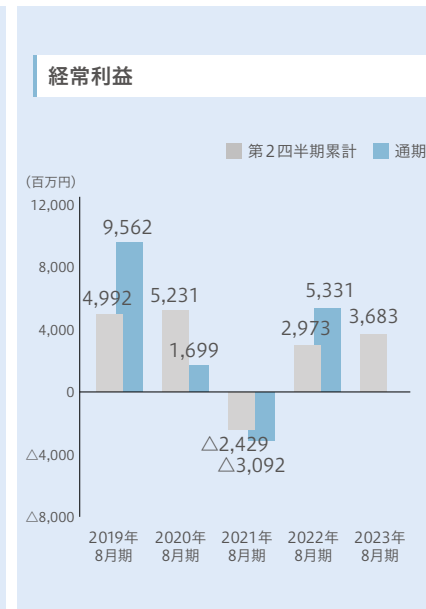
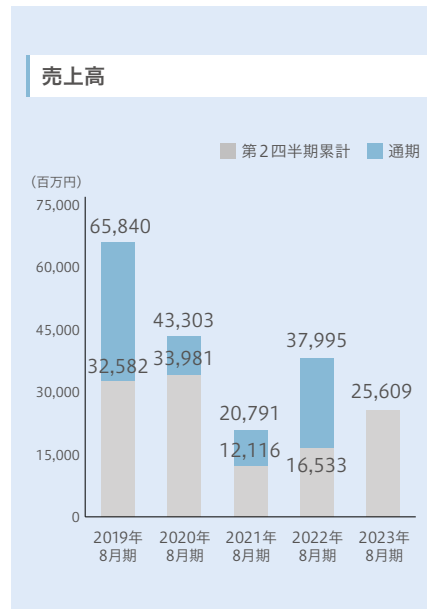
る地域に進出すべく、市場調査を進めてまいります。また、出店形態については、海外でも生産性・効率性の向上を目指して「店舗の大型化」に取り組む方針です。海外大型店のフラッグシップモデルとして、2022年10月にタイに50ルーム規模の店舗をオープンし、2か月目には単月黒字で推移するなど成功を収めております。

Q.6 | 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします

世の中には、様々な社会課題が山積しています。上場企業は社会の公器であるという認識のもと、私たちは、事業を通じて、どのようなSDGs活動の展開が可能だろうか。この自問に対する答えの一部として、「ひとり親支援」、「Let's Sing! 歌は応援になる」プロジェクト、「こども110番」などの取り組みを開始しました。たとえば、「ひとり親支援」は、NPO法人等と連携してひとり親世帯限定で「カラオケまねきねこ」に無料招待するものです。こうしたSDGs活動は、地域社会との共存共栄、そして

従業員の意識改革にもつながっていく重要な取り組みであり、さらに拡充してまいる予定です。お陰様で当社グループは、3年にも及んだコロナ禍を無事に生き抜き、より強靱な企業体となって今、さらに大きな成長機会を捉えようとしています。国内はもとより海外での飛躍に向け、グループ全社員が一丸となって突き進んでおります。当社グループの今後の挑戦にご期待いただき、引き続き変わらぬご支援をお願い申し上げます。

業績ハイライト



※ 2020年8月期第2四半期までの業績については、2020年8月期第2四半期末を基準日として当社子会社株式の現物配当(スピンオフ)を実施したカーブホールディングスグループの業績も含んでおります。

中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」の追求が本格化しています。

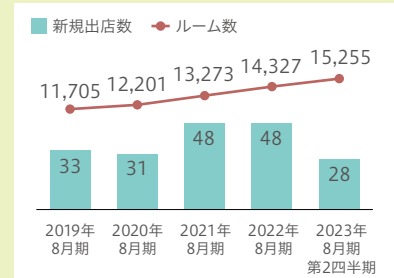
当期(2023年8月期)より、中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」の追求を再始動し、本格的な取り組みが進んでいます。その中でも、「出店強化」の取り組みが急加速しており、これが業績急拡大に直結しています。そこで、この特集では、現在の業績急拡大を演出している「出店」と「客足」の状況を紹介します。

▶ コロナ禍での積極出店後、当期から出店ペースのさらなる加速へ

コロナ禍の3年間においても当社は、長期目標である「売上高1,000億円※+30,000ルーム」をまっすぐに見据え続け、そのマイルストーンである2025年8月期目標「売上高650億円※+20,000ルーム」の達成に向けて、揺るぎない信念のもと、積極的な出店と店舗の大型化を推し進めました。その結果、「カラオケまねきねこ」の新規出店数は、コロナ禍前(2019年8月期)を上回るハイペースを維持し(右グラフの通り)、2023年8月期からは、さらなるペースアップを計画しています。同時に進めてきた店舗の大型化により、ルーム数は2022年8月期に14,000超となり、中間点である20,000ルームが視野に入ってきました。

※ 海外を除く

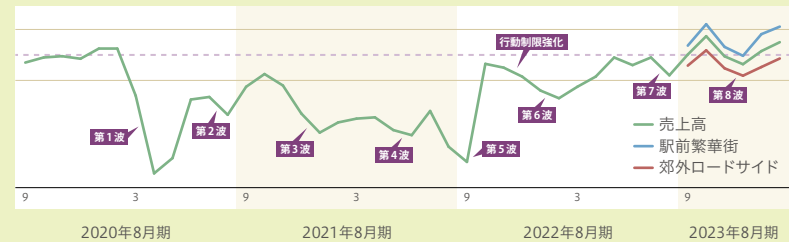
■新規出店数とルーム数の推移



▶ 2023年1月中旬ごろから流れが変わり、客足は増加する方向へ

2023年8月期に入り、売上が急回復傾向を示す中、政府よりマスク着用のルール緩和や新型コロナウイルス感染症の2類相当から5類への移行などの方針が発表された2023年1月中旬辺りを境に、流れが大きく変わってきました。そして、例年であれば1年間で最も低調な月である2月に、既存店売上がコロナ禍前の110.2%、全店売上が同158.4%と大幅な伸びを示しました。客層を見ると、現在のところ団体客がまだ戻ってきていない状況にあり、その中でこのような回復ぶりを示していることを考えると、下半期以降、客足のさらなる増加が期待されます。

■既存店売上高の月次動向(2019年8月期同月比)



1

日本にイノベーションを興せ！～母校前橋高校にて講演～



2022年12月22日、当社社長の腰高は、母校である群馬県立前橋高等学校において、文部科学省の指定を受けるスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の一環として開催された「イノベータ講演会」に講師として招かれ、講演を行いました。当社の創業から現在までの成長の歩みを、イノベーションの観点から紐解くとともに、現在の日本が直面している課題とその打開に向けたイノベーションの必要性を語りました。質疑応答では多くの質問が投げかけられ、多様性の中に身を置くことの重要性や、新しいアイデアは遊び心から生まれることなどを伝えました。

2

マレーシア、タイ、インドネシアなど東南アジアで新規出店が再開

東南アジアの経済活動が2022年夏頃から急速に回復してきたことを受け、当社グループは2023年8月期より、いよいよ海外展開を再開し、今後、出店政策を加速させていく方針です。

その先駆けとして、2022年9月～2023年3月の7か月で、マレーシア4店舗、タイ2店舗を新規出店しました。この結果、2023年3月末現在、マレーシア、タイ、インドネシアの東南アジア3か国で13店舗体制となっています。今後、マレーシアは年間10店舗程度の新規出店を目指し、タイとインドネシアについては、外資規制に対応したパートナー企業選びを早期に終え、多店舗展開体制を整えていきます。さらに、中期的には東南アジアの他の地域への海外事業の拡大を目指していきます。



タイ MBK CENTER店
(ルーム数48の大型店)



マレーシア エコチェラス店



タイ MBK CENTER店

INFORMATION

会社の概要 (2023年2月28日現在)

会社名	株式会社コシダカホールディングス
英訳名	KOSHIDAKA HOLDINGS Co., LTD.
設立年月日	1967年3月31日
東京本社	東京都港区虎ノ門四丁目3-20 神谷町MTビル17階
前橋本社	群馬県前橋市大友町一丁目5-1
資本金	20億7,025万7,500円
事業内容	カラオケ事業(店舗数:国内604店舗、海外16店舗) 温浴事業(店舗数:3店舗)
従業員数	グループ従業員 5,240名 (正社員 1,069名、パート・アルバイト 4,171名) パート・アルバイトは1日8時間換算人数

役員 (2023年2月28日現在)

代表取締役社長	腰高 博	社外取締役	小林 建治
常務取締役	腰高 美和子	社外取締役(常勤監査等委員)	西 智彦
常務取締役	土井 義人	社外取締役(監査等委員)	森内 茂之
取締役	座間 晶	社外取締役(監査等委員)	高井 研一

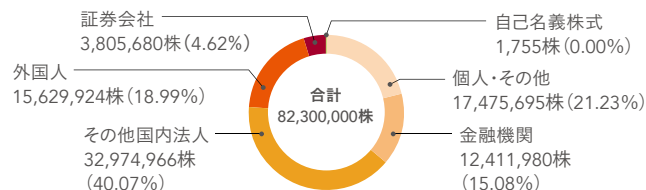
大株主 (上位5名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヨウザン	21,328,000	25.92
株式会社ふくる	8,368,000	10.17
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,334,300	8.91
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	5,582,659	6.78
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,249,000	2.73

株式の状況 (2023年2月28日現在)

発行可能株式総数	307,200,000株	株主数	38,472名
発行済株式の総数	82,300,000株		

所有者別株式分布状況 (2023年2月28日現在)



株主メモ (2023年2月28日現在)

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月下旬
基準日	毎年8月31日
定時株主総会・期末配当中間配当	毎年2月末日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
住所変更のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主優待

2023年8月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上の株式を保有されている株主様に、下記の株主優待の実施を予定しております。

保有株式数	継続保有期間3年未満	継続保有期間3年以上
100株～399株	2,000円相当の株主優待券 [※]	4,000円相当の株主優待券 [※]
400株～999株	5,000円相当の株主優待券 [※]	10,000円相当の株主優待券 [※]
1,000株以上	10,000円相当の株主優待券 [※]	20,000円相当の株主優待券 [※]

※株主優待券は、当社の運営する日本全国のカラオケまねきねこ、ひとりカラオケ専門店ワンカラ、温浴施設でご利用いただけます。なお、「継続保有期間3年以上」に該当する株主様とは、毎年8月末日及び2月末日の株主名簿に「同一の株主番号」で連続して7回以上記載または記録された株主様となります。



株式会社コシダカホールディングス

〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3-20 神谷町MTビル17階
電話 03-6403-5710(代) Fax 03-6403-5727



環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。